



かながわ県民文化祭（仮称）開催と文化芸術施策について

本県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す「マグネット・カルチャー（マグカル）」の取組を推進しており、東京2020大会に向けた取組のほか、コロナ禍にあっても、文化芸術の灯を消さないために、様々な文化芸術活動を支援してきました。

今後も引き続き、コロナ禍にあって制限を受けた文化芸術活動を支援するとともに、東京2020大会の開催に合わせて実施した文化プログラムが、レガシーとして継承され、地域の継続的な活性化に向けた取組となるよう推進する必要があります。

そこで、県では、令和4年度も様々な事業に取り組んでまいりますので、次のとおり御協力くださるようお願いいたします。

1 かながわ県民文化祭（仮称）の開催について **別紙 1**

令和4年度から、東京2020大会のレガシーとして、市町村や民間団体等との連携の下、「かながわ県民文化祭（仮称）」を開催しますので、各市町村で実施する主催事業の参加や広報媒体での周知等に御協力くださるようお願いいたします。

2 神奈川フィルハーモニー管弦楽団の取組について **別紙 2**

本県では、県の音楽文化をリードしてきた（公財）神奈川フィルハーモニー管弦楽団への支援を引き続き行いながら、同楽団と共に本県の文化芸術を一層振興していきますので、次のことに御協力くださるようお願いいたします。

- ・ 県内巡回公演の公演情報の周知や広報協力
- ・ 音楽教育事業の実施検討
- ・ 周年事業の祝賀イベント等における活用

3 神奈川県マグカル展開促進補助金の創設について **別紙 3**

コロナ禍で大きく活動の制限を受けた民間の文化芸術活動への支援として、民間団体が県内で行う文化芸術の事業を支援する「神奈川県マグカル展開促進補助金」を創設しますので、各市町村域で活動する団体への周知に御協力くださるようお願いいたします。

かながわ県民文化祭（仮称）の開催について

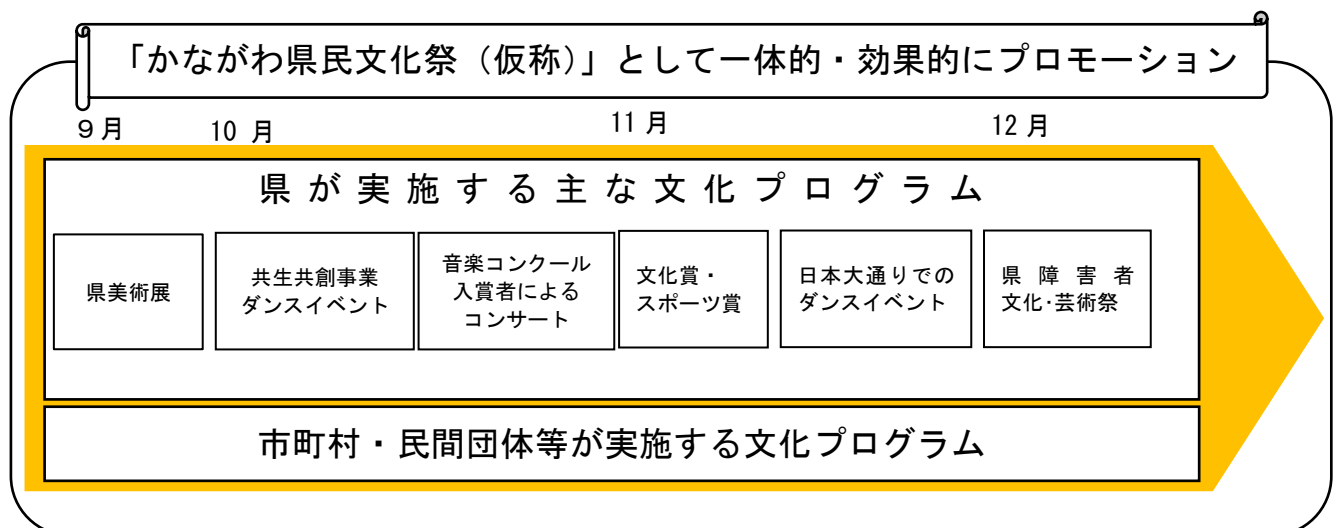
1 目 的

文化の日を中心とした9月から12月を「かながわ県民文化祭（仮称）」の期間として、県、市町村、民間団体等が県内で実施する文化プログラムを一体的かつ効果的にプロモーションすることで、県民が幅広く文化芸術に親しむ機会を提供する。

2 事業内容

「かながわ県民文化祭（仮称）」に位置付ける文化プログラムを広く募集し、県の広報誌やポータルサイト等への掲載により、一体的かつ効果的に広報するとともに、SNSを活用したプレゼントキャンペーンの実施により、広く県民に周知し、参加を呼びかける。

事業イメージ



3 市町村への依頼事項

各地域の文化活動を全県に広報する機会であるため、各市町村で実施する主催事業の「かながわ県民文化祭（仮称）」への参加や広報媒体での周知等への協力を依頼する。

問合せ先

文化課文化事業グループ 魚谷、前田

電話：045-210-3808（直通）

電子メール：bunkajigyou@pref.kanagawa.lg.jp

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の取組について

神奈川県国際文化観光局文化課

PROFILE

- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団は昭和45年に発足し、地域に密着した音楽文化の創造を使命に、神奈川県全域を中心に、幅広い活動を行っているプロ・オーケストラです。
- 県内各地で演奏会を開催し、オペラ、バレエ、レコーディングなどにも数多く出演しています。
- 音楽教育にも積極的で、子どものためのコンサートを各地で開催し好評を得ています。



県内巡回公演

- 県内市町村を巡回し、その市町村の出身のプロの音楽家や文化芸術団体との共演などにより地域活性化を図る事業です。
- 文化芸術公演が横浜・川崎地域に偏っているという課題がある中で、湘南地域や県央地域、県西地域など、普段プロ・オーケストラの公演があまり実施されない地域でも演奏活動を実施します。
- 地域の方々を、普段、観ることができないゲネプロに招待するなど、地域住民との交流も図ります。



県内巡回公演

【令和4年度予定】

実施予定日	会場
令和4年6月5日(日)	鎌倉芸術館
令和4年9月18日(日)	クアーズテック秦野カルチャーホール
令和4年9月23日(金・祝日)	相模原市民会館
令和4年9月25日(日)	南足柄市文化会館
令和4年12月24日(土)	厚木市民文化会館
令和5年3月21日(火・祝日)	ミューザ川崎シンフォニーホール
令和5年3月26日(日)	横須賀芸術劇場

【令和2年度実績】

実施地域：茅ヶ崎市、秦野市、海老名市、藤沢市、小田原市、大和市

【令和3年度実績】

実施地域：茅ヶ崎市、秦野市、海老名市、藤沢市、小田原市、大和市

子どものためのオーケストラ

- 小学生から中学生までの児童・生徒に、本物で生の音楽芸術に身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的とした事業です。

※音楽教育体験事業

- 演奏者が学校に出向いて行う楽器・合唱のワークショップ、吹奏楽部への実演指導のほか、自らの手で楽器や音楽に触れる参加型の「感動の種まき」による、本物の芸術に身近に触れられる機会を届けています。
- 子どもたちが作詞作曲したオリジナル曲と校歌をオーケストラ版にアレンジし、子どもたちの合唱とともに一緒に演奏します。



※音楽教育鑑賞事業

- 県内各地の行政や学校が主体となり開催するコンサートです。
- 行政主催の公演は、対象学年の子どもたちが地元のコンサートホールに集まり、芸術を鑑賞します。

【実績】



自治体	会場	実施開始年	公演日数等	年間参加者数	総参加者数
横浜市	横浜みなとみらいホール	1998年	1日2公演 10日間	約30,000人	延べ約777,000人
相模原市	相模原市民会館など	1994年	1日2公演 3日間	約6,000人	延べ約133,000人
横須賀市	横須賀芸術劇場	1996年	2日間3公演	約3,000人	延べ約80,000人
伊勢原市	伊勢原市民文化会館	1994年	1日1公演	約850人	延べ約22,000人
逗子市	逗子市文化プラザホール	2005年	1日1～2公演	約450～900人	延べ約12,000人

市町村へのお願い

- ▶ 県内巡回公演について、公演情報の周知や広報協力をお願いします。
- ▶ 音楽教育事業の実施について、御検討ください。
- ▶ 周年事業の祝賀イベント等を御検討の際は、
神奈川フィルハーモニー管弦楽団を御活用ください。

【問合せ】

国際文化観光局文化課

横溝 英美

電話 045-210-3804

メール bunkakikaku@pref.kanagawa.lg.jp



神奈川県マグカル展開促進補助金の創設について

1 目 的

県において文化芸術団体が新たに行う先駆的な事業のほか、共生社会の実現や伝統芸能の振興につながる文化芸術事業への補助制度を創設することで、県内の文化芸術活動の更なる振興を図る。

2 事業内容

- ・ 県内で民間団体が実施する演劇、伝統芸能を始めとする文化芸術全般に係る新規事業を補助対象とする。
- ・ 先駆的事业や、シニア・障がい者連携事業等といった重点事業については、補助率や上限額を引き上げることで、特に力強く促進する。

<補助内容>

対 象 者：民間団体（任意団体を含む。個人での申請は対象とならない。）

対象事業：神奈川県内で実施し、不特定多数の者に公開する文化芸術の新たな事業

補助率等：補助率 3 分の 1 以内 上限100万円

ただし、重点事業（以下の区分を特定）は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設ける。

区分	補助率	補助上限額
先駆的事业、シニア連携事業、障がい者連携事業	1 / 2	300 万円
伝統芸能事業、青少年人材育成事業	1 / 3	300 万円

3 市町村への依頼事項

各市町村域で活動する団体への周知について、協力を依頼する。

問合せ先

文化課マグカル推進グループ 松井、市川

電話：045-285-0220（直通）

電子メール：bunpro.6fp7@pref.kanagawa.lg.jp